|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2023第1,2,3 RUTC答え25(4)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2023年1月22日　週間祈りカード | | |
| △区域メッセージ（第４週）  神のかたちと25の答え(使1:8) | △聖日1部礼拝  今日がはじまり、終わり、永遠(使8:26-40) | △聖日2部礼拝  神様の歴史的な時刻表の中にいる者(使9:1-15) |
| □序論\_ 7大旅程  一番重要なのが祈りの答え。7大旅程は聖書の全体の伝道現場から見つけ出したことなので、参考にする必要がある。  1.すると、みことばを正確に深く見たという証拠として、正確な答えが来る。  2.空前絶後の答えが来る。  3.このとき、神様の計画が見える  4.いよいよ私、私のこと、私の現場が見える。  5.62の生活(私の一生の生活が見える)  □本論  1.私を回復するということはなにか(福音で回復すべき)  1)創1:27神のかたちを見つけ出すこと  2)創3:4-5サタンが奪っていった、1:2そして、本来のとおり暗やみ、虚しさ、混沌、このように行ってしまったこと  3)創3:15それゆえ回復できる道を神様がすみやかに与えてくださった  2.私を生かす集中ということは(1大旅程を行くこと)  1)創1:3の光を再び回復すること  2)創1:26三位一体の神様がともにおられる記録  3)創1:27、2:7この恵みが私中に臨むこと  御座  そして、自然に御座の力が臨むこと  3.創1:28霊的作品  「征服して治めなさい」これが本当の答え  1)3団体で作り出した瞑想運動(3・6・11を再び回復すること)  2)それゆえ、私たちは黙想運動で回復させるべき  3) 3・9・3三位一体の神様、御座の祝福9つ、3時代  □結論\_祈り-いやし、力  すべてを祈りに変えることができれば、刻印、根、体質が変わる。そのときから、いやされて力が生まれる | □序論\_見張り人として絵を描くやぐらの法則を持っているべき  「あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る」これがマルコの屋上の間で起こった最も大きな答え。見張り人として絵を描くやぐらの法則を作りなさい。それが正確ならば、正確な答えがくる。その中に必ずプラットフォーム、見張り台、アンテナができる。絶対に落胆してはならない。  1.やぐらの法則の流れ  1)アブラハム-祭壇を築き始め(創13:18)  2)ヨケベデ-モーセを王宮に送ることを決意した後にした事  3)ハンナ-ナジル人を与えてください  4)ダビデ-私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。(詩23:6)  5)エリシャ-霊の二つの分け前が私のものになりますように。このエリシャがドタンの町運動  6)ダニエル-心を定めて、いつものように、やぐらを築きはじめ(ダニ1:8、6:10)  7)ピリポ-「あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る」見たこと  2.ピリポが持ったこと  1)聖霊の満たし-御座の力　　2)知恵の満たし-宇宙の力  3)信仰の満たし-世界福音化の力  3.やぐらを築けば開かれる一つの目-はじまり、終わり、永遠なこと  1)はじまり-福音を聞いたことがないエチオピアの宦官  2)終わり-福音を聞く最後の機会  3)永遠に残る福音  □本論\_この法則を分かれば、必ず成り立つ三つのこと(受ける答え)  1.迫害と死ははじまり-ステパノの死は終わりでなくはじまり  1)ダマスコでパウロを倒されたキリスト(使9章)  2)アンテオケ教会、パウロとバルナバの出会い  3)迫害のとき、集まって祈り-ヘロデ王に勝つ(使12章)  2.千年の答え  1)サマリヤに福音を伝えに行ったこと-王、祭司、預言者もできないこと  2)キリストの御名によって悪霊につかれた者をいやし  3)不治の病の者をいやし  3.永遠の答えにつながる  1)主の使いがピリポに(26節)  2)主の御霊がピリポに(29節)  3)主の霊がピリポに(39節)  △やぐらの法則を分かれば、世の中の人が分からない霊的な働きが明らかに起こる。この状態に入らなければならない。エチオピアの宦官にピリポが送られ、キリストを宣べ伝えてバプテスマを授けた。最初、最後、永遠の機会。  □結論\_ 「私は今日から見張り人になって重要な未来のやぐらを作る」  1.レムナント7人-世界福音化の絵を持ってずっと祈ったヨセフ、荒野のモーセ  2.家系と産業に霊的な働きが起きること。このやぐらがあればプラットフォームが作られて、主の使い、主の聖霊が臨むようになって、証人になる。  3.だまされずに契約を握りなさい。 | □序論\_飢え渇いて待つ人が多い。  出会い(タラッパン) -その人が今日、福音を受けるように備えられた者なのか、そうではないのか、話を投げてみれば分かる。反応を見せたり、とても拒否すれば、時刻表になった人だ。必要なタイムに福音を伝えるのだ。それをタラッパンと言う。  難しい(チームの働き) -難しい目にあっている人に会えば少しだけ助けてあげれば良い。それをチームの働きと言う。  葛藤(M.H、学舎、RUTC) -周辺に隠れた難しさを持っている人、来ている多民族、青年、学生を少しだけ助けるのだ。  70人、70地域-聖書の重職者が味わった祝福を与えられたので、この程度になるように私の水準を上げなければならない。  副教役者-70人現場を見て地域を生かす絶好の機会を持っている人々だ。  △どんな働きをしても、70影響を与えられるように神様が備えておかれた。イサクには福音化するように100倍祝福された。ダマスコを迫害者パウロが通り過ぎるとき、その町にアナニヤがいることをご存じで、ぴったり合わせられたのだ。  □本論  1.危機-神様の計画を成し遂げる時刻表にアナニヤを呼ばれた。使9:10  1)脅かし、殺害の意に燃えていたサウロ  2)公文書-権限を要請  3)Iテモ1:13すべての信徒に害を与えたサウロ  2.使9:15弟子を見つける時刻表にいたアナニヤ  1)パウロ-ローマの名前、サウロ-へブルの名前  2)キリキヤ・タルソ出身　3)アテネ-哲学勉強  4)ガマリエル門下生　　　5)ローマ市民権者  6)パリサイ人　　　　　　7)ベニヤミン族  △全世界を生かす選びの器として呼ばれたパウロを、アナニヤに送られたのだ。  3.未来を生かす時刻表　使11:25-26  1)使11:19、11:25-26アンテオケ教会を迫害しに行って、アンテオケ教会の弟子になったパウロ  2)使13、16、19最も重要な宣教現場に派遣  3)使17、18、19会堂に入って次世代を変える事に参加  4)使19:21、23:11、27:24ローマ  5)使28:30-31ローマで2年間、誰もみことばを妨げることができなかった。  △これを持って、これから金土日時代を開かなければならない。  □結論\_教会の中に私のやぐらを建てなさい  1.三つの庭  2.237、いやし、サミット- 237に関する私のやぐらを建てていやし、サミット  3.弟子、次世代-弟子を立てて、次世代につなぎなさい  (足跡) -あちこちに書簡を送って足跡を残したパウロ  △すべての重職者は一つの国をいやして、レムナント育てるほど、ひとつの国とつながりなさい。そこに弟子がついてきて、他の人が来て、見るようにさせなさい。そこに足跡を残しなさい。 |